



7月28日は世界肝炎デー、日本肝炎デー

知って、 肝炎のこと

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

肝臓の働きとは

肝臓は、右の肋骨の下に位置する、人間の体内で最も大きい臓器です。

消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えることや毒物の分解、体内物質のバランス維持など、生命を支えるために重要な多くの働きを担っています。

肝臓がんの原因の多くは肝炎ウイルス

日本では、年間約2万5000人が肝臓がんによって死亡しています。その原因の約80%が肝炎ウイルスと言われ、そのほとんどは、B型・C型の肝炎ウイルスの感染によるものです。

しかし、肝臓は、「沈黙の臓器」と言われ、ウイルスに感染していても、自覚症状がありません。そのため、検診を受けて感染していないか早期に調べておく必要があります。

身近な病気「肝炎」

B型・C型肝炎ウイルスは、肝臓にすみつくと、慢性肝炎になる可能性が高く、肝硬変・肝がんにも進行することもあります。日本のB型・C型肝炎ウイルスの患者・感染者数は、合わせて300万人以上とも推定され、肝炎は、国内最大の感染症と言われるほど「身近な」病気と言えます。

しかし、ウイルス性肝炎は、多くの原因ウイルス



自覚症状がないまま病気が進行する恐れがあります。一生に一度は検診を受けましょう。

と感染経路が判明しました。発症の仕組みも解明され、さまざまな治療法が研究・開発されています。

もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治癒し、肝硬変や肝がんへの悪化を予防することができます。

ウイルス性肝炎の早期発見・治療のために

令和3年度安来市肝炎ウイルス検診（無料）

詳細は「令和3年度健診のしおり」（広報やすぎ6月号と一緒に配布しています）をご覧ください。

期間 7月1日（休）～令和4年1月31日（月）

対象 40歳以上でこれまでに肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

受診方法 健康診断（健康診査）や集団特定健診（7月28日、9月3日、9月11日）と同日実施

※受診を希望する人は、いきいき健康課へ問い合わせください。受診歴を確認して、「肝炎ウイルス検診記録票」をお渡しします。

検査方法 血液検査でB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスへの感染の有無を調べます。